

道徳のかけ橋

平成31年4月15日発行
第 20 号
福島県教育庁
義務教育課

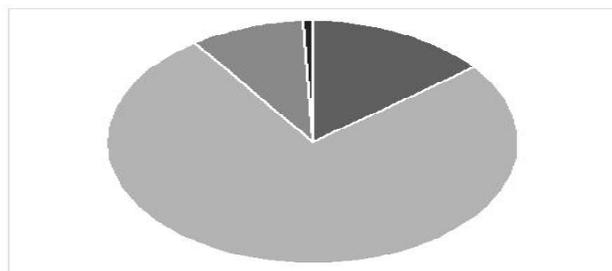
平成30年度道徳教育実施状況調査の結果をお知らせします。

平成31年度（令和元年度）を迎えて、中学校でも道徳科が全面実施されました。各学校では、授業の質的改善、児童生徒一人一人を受け止めて認め、励ます評価の具現といった内容について、日々努力いただいておりますことに改めて感謝いたします。

今号では、平成30年度道徳教育実施状況調査（<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70056a>）に全項目の結果一覧掲載）から特徴的な項目を抜粋して紹介します。「御自身の学校では、どうか…」という問いかけを持ちながらお読み頂き、今年度一年間の見通しをもっていただけたら幸いです。

1 道徳教育全体計画の「別葉」の活用の有無について

| | | |
|----------------------|---|-------|
| ① 成果や課題などを記入して活用している | ■ | 14.3% |
| ② 確認するなどして活用している | ■ | 76.0% |
| ③ 活用していない | ■ | 8.9% |
| ④ その他 | ■ | 0.8% |

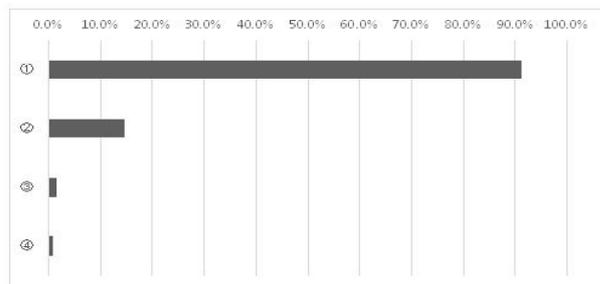


※小・中学校等の合計である。

道徳教育全体計画の別葉について活用の意識は着実に高まっているが、「③活用していない」と回答する学校も見受けられました。「①成果や課題などを記入して活用している」の学校のように、年度初めに、活用と充実のための具体的な方向性について見通しをもつことが大切です。

2 ふくしま道徳教育資料集の活用場面について

| | | |
|---------------------|---|-------|
| ① 道徳（科）の時間に活用した | ■ | 91.4% |
| ② 道徳（科）以外の教育活動で活用した | ■ | 14.6% |
| ③ 家庭で活用した | ■ | 1.5% |
| ④ その他 | ■ | 0.9% |

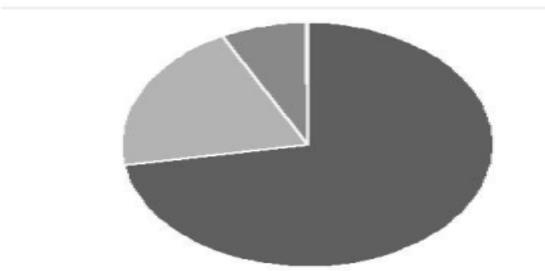


※複数回答。小・中学校等の合計である。

「ふくしまならでは」の道徳教育の推進に向けて、道徳科の授業に、ふくしま道徳教育資料集を積極的に位置付けている学校が多い。特に、「3.11」前後に、資料集を活用した授業を行う学校が多い。今後は、授業での活用はもちろん、課外の時間における読み聞かせや、家庭学習における親子読書等、道徳科の授業以外での教育活動への位置付けを是非検討してください。

3 心に響く多様な指導方法への取り組みについて

| | | |
|------------------------|---|-------|
| ① 教員は理解し、工夫して実践している | ■ | 72.3% |
| ② 教員は概ね理解しているが実践できていない | ■ | 20.2% |
| ③ 教員の理解や取り組みは不十分である | ■ | 7.4% |
| ④ その他 | ■ | 0.2% |

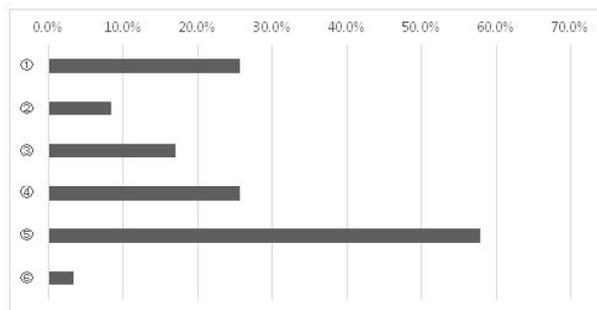


※小・中学校等の合計である。

心に響く多様な指導法への取り組みについては、教員に概ね浸透し、理解度も上がってきている。ただ、「④その他」では、「教員間の個人差が極めて大きい」という指摘がありました。今後は、道徳科の授業に関する教員間の意識の差をしっかりと把握して埋め合わせるため、授業研究等の実践的な研修等を継続していくことが大切です。

4 家庭や地域社会との連携による道徳の指導について

| | | |
|----------------------------|---|-------|
| ① 保護者が授業に参加した | ■ | 25.7% |
| ② 地域の人々が授業に参加した | ■ | 8.5% |
| ③ 保護者や地域の人々以外のゲストティーチャーが参加 | ■ | 17.1% |
| ④ ①～③について実施する予定はない | ■ | 25.7% |
| ⑤ ホームページや学級、学年便りで発信した | ■ | 57.1% |
| ⑥ その他 | ■ | 3.4% |

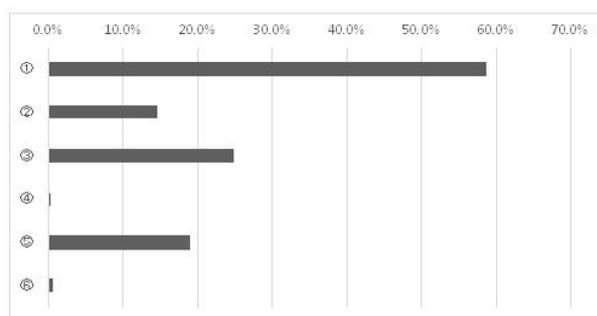


※複数回答。小・中学校等の合計である。

家庭や地域社会との連携を図るため、保護者や地域の方々に参加していただく道徳科の授業を試みている学校が多い。また、ホームページやお便りで発信を行っている学校が多い。新学習指導要領においては、社会に開かれた教育課程の実現を目指しており、道徳科もその役割を積極的に担う必要があります。

5 道徳科の評価への取り組み（通知票への記載）について

| | | |
|-------------------|---|-------|
| ① 通知票に、通年1回記載した | ■ | 58.7% |
| ② 通知票に、通年2回記載した | ■ | 14.6% |
| ③ 通知票に、通年3回記載した | ■ | 24.8% |
| ④ 通知票には記載しない | ■ | 0.2% |
| ⑤ 保護者面談、個人面談等で伝える | ■ | 19.0% |
| ⑥ その他 | ■ | 0.7% |

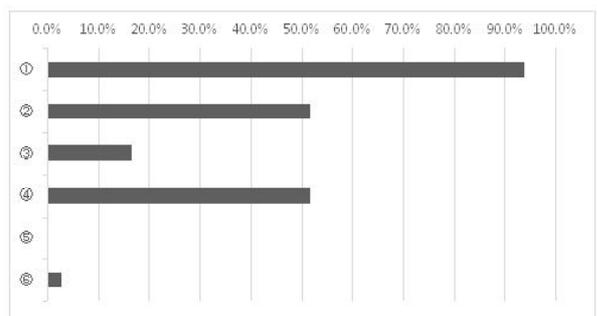


※複数回答。小学校のみの回答である。

小学校においては、通年1回58.7%、通年2回14.6%、通年3回24.8%と通知票への記載が分かれています。また、面談を行っている学校も相当数あります。今後も、学習評価の改善及び指導要録の改善についての通知等の趣旨を踏まえながら、内容と形式の充実を図っていく必要があります。

6 道徳科の評価のための資料を累積する方法について

| | | |
|----------------------|---|-------|
| ① ワークシートを活用して累積している | ■ | 94.0% |
| ② ノートを活用して累積している | ■ | 51.7% |
| ③ 座席表を活用して累積している | ■ | 16.7% |
| ④ 教科書の書込欄を活用して累積している | ■ | 51.7% |
| ⑤ 資料の累積を行っていない | ■ | 0.2% |
| ⑥ その他 | ■ | 2.8% |



※複数回答。小学校のみの回答である。

ワークシートの活用累積（94.0%）を筆頭に多種多様であり、各学校は創意工夫しながら取り組んでいる様子が伺えます。今後も、より効果的な累積の方法について全教員の共通理解の基、取り組んでください。

道徳の礎（いしずえ）、是非御活用ください。

- 「ふくしまならでは」の道徳教育の実現に向けて必要な理論や昨年度道徳教育推進校の実践等を集録し、ふくしまの先生方の悩みに寄り添う一冊になっています。各学校に2冊配本しました。「理論編」「実践編」「Q&A」の3編構成となっていますので、先生方の問題意識に合わせて活用してください。
 - 道徳教育における校長の指導方針、全体計画、別葉などの資料も豊富です。
 - ふくしま道徳教育資料集を活用した実践事例は、大変参考になります。
- 〈掲載〉 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70056a/>

